

つながる



平成 24 年 8 月 24 日 No.16

十日町市教育委員会学校教育課



十日町市が進める小中一貫教育について

学校教育課長 柳沢 博

教職員の皆様には日々の教育活動がある中、小中一貫教育実施に向け、各小・中学校あるいは中学校区単位で準備や取組を着実に進められていることに感謝申し上げます。

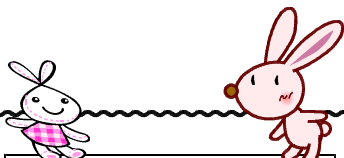
さて、8月2日(木)、千手中央コミュニティセンターで、講師に宇都宮市立一条中学校長、久保 徹先生をお迎えし、「十日町市小中一貫教育講演会」を開催しました。当日は、市議会議員や教育委員の皆さんも含め多くの教職員の皆様から参加いただきありがとうございました。

宇都宮市が進める小中一貫教育は連携型で、当市より1年早く22年度からモデル中学校区で開始しています。また、中学校へ進むと、学習が分からなくなる、不登校生徒が増える、といった当市と同じ課題を抱え取り組んでいます。その小中一貫教育を中核となって進められている久保先生の講演をお聴きし、次のような感想をもちました。

- ・小中一貫教育に期待することやその取組方法などで、当市と共通している点が多い。一条中学校区では、早くも成果が出始めている。ということは、十日町市の小中一貫教育の方針や取組内容に間違いはなく、今までの方針で進めてよいこと。
- ・小中一貫教育推進の基盤は、教職員の意識改革にある。小・中学校の文化の違いを、お互いに理解し合うことが重要であること。
- ・意識改革には、市教委や管理職、コーディネーターのリーダーシップが不可欠であること。
- ・今後は、保護者や地域との協力体制を構築していくことが必要であること。

教育委員会では今年度新たに、小中一貫教育の中の学力向上対策として「宿題どんとこい」事業を、不登校児童生徒の減少に向けた特別支援教育の対策として「特別支援教育コーディネーター研修講座」を始めました。「宿題どんとこい」は全市の中学生が同一の課題に取り組むことで家庭学習の習慣化を、「特別支援教育コーディネーター研修講座」では通常学級における特別支援教育の充実をねらいとしています。特に、特別支援教育の充実、学力向上に対しても大きな効果を発揮するものと考えています。

小中一貫教育実施に向けた準備や取組を推進されている中で、さらに新たな取組が始まり、教職員の多忙化がさらに進むと感じている方も多いと思います。しかし、今まで教職員の皆さんが、課題解決に向け長年に渡って努力されてきたにもかかわらず、成果が数値の面でははっきりと表れてきていません。そのような中で、市では小中一貫教育の「連続性」という視点から課題解決を図ろうと考えました。どの取組も、軌道に乗るまでは試行錯誤を繰り返し、多大な労力を要します。そのような中でも教職員の皆さんには、この努力が十日町市の子どもたちのためになり、ひいては自分自身の力となる、と前向きにとらえていただき積極的に取り組んでほしいと願っています。



しゅっちゅう一貫 耳より情報

<学力向上事業の取組から>

市教育センター主催の「～プロに学ぶ～授業力向上研修会 part 1」が実施されます。授業の達人に示範授業をしてもらい、実践を通して指導の在り方を協議し学び合います。玉川大学教職大学院谷和樹准教授が、小学3年生の社会科の授業を行います。自分の授業力を高める良い機会です。大勢の参加をお待ちしています。

<日時> 9月13日(木) 13:50～16:30

<会場> 橘小学校



しゅっちゅう一貫 先進地に学ぶ

<講演会が終了しました>

8月2日(木)、宇都宮市立一条中学校長、久保徹先生による講演会を実施しました。演題は、「一条中学校区が進めている小中一貫教育について」。当日は、総勢65名の参加。講演後の質問も積極的に行われ、盛



会となりました。参加者の感想の一部を紹介します。資料が少し残っていますので必要な方は係までご連絡ください。

小中一貫教育の具体的な取組について大変参考になった。当学区で推進している小中一貫教育と重なる部分が多く、自分たちの取組に自信を持つことができた。

非常に誠実な話に感動した。ギャップをステップにという発想が自分にはあまり無かった。意識を変えていきたい。

小・中学校の教員が同じ方向を向いて真剣に取り組むことが大切だということが確認できた。子どものより良い成長を願って、9年間を見据えた教育を推進していきたい。一人の力は小さい。保護者・地域と連携して大きな力としたい。

<視察に行ってきました>

8月21日(火)、三条市小中一貫教育実践発表会視察研修会を実施しました。平成25年度の本格実施を前に、三条市の小中一貫教育の取組の概要説明、全市9中学校区の実践発表、パネルディスカッションが行われました。三条市は連携型の中学校区も多く、十日町市の取組に多くの示唆をいただきました。要項をご覧になりたい方は係までご連絡ください。参加者は総勢16名。参加者の感想の一部を紹介します。

具体的に何をしていけば良いのかが、だいぶ分かったように感じる。うちの中学校区の器に応じた形で「学力向上」の一点突破の戦略を練りたい。当中学校区のコーディネーターも誘うべきだった。

小中一貫教育という取組が効果的だったか否かの評価を毎年度実施しないと、より実効性のある取組にはならない。具体的に子どもがどう変容したか、学校が活性化したかの評価を考えていきたい。



モデル中学校区9月の活動予定



日時	＜内容＞	会 場	見 どころ
8 日 (土)	＜交流活動＞ 8 : 30 ～ 11 : 45	下条中学校 グラウンド	・ 小学6年生が、中学校の体育祭に参加します。入場行進・開会式・午前の競技の一部に参加し、全校リレーでは小学生が応援します。今年は小中一貫種目として玉入れを計画しました。
8 日 (土)	＜交流活動＞ 9 : 00 ～ 14 : 45 (小学生レース 13 : 35 ～)	松代中学校 グラウンド	・ 小学生が中学校の体育祭に参加します。夏休み中に2回、生徒会と児童会の代表が話し合いを行い、種目内容や運営方法について決めました。
9 日 (日)	＜交流活動＞ (玉入れ 11:00 ～ クラス 対抗リレー 11:30 ～)	川西中学校 グラウンド	・ 中学校の体育祭に中学校区の小学6年生の希望者が参加します。種目は玉入れとクラス対抗リレーです。
10 日 (月) ～ 14 日 (金)	＜チャレンジウィーク＞	中里中学校区	・ 保・小・中学校が連携して生活リズムの定着と家庭学習の習慣化を図る「中里っ子チャレンジウィーク」に取り組みます。保育園は年長児、小・中学校の児童生徒は全員が取り組みます。
10 日 (月) ～ 21 日 (金)	＜授業交流＞	中里中学校区	・ 小中の教職員が期間中に互いに授業参観を行い、情報交換や相互理解を深めます。
11 日 (火)	＜交流活動＞ 10 : 30 ～	市営陸上競技場	・ 川西中学校区の3小学校の5、6年生が親善陸上大会を目指し、合同練習を行います。2回目は20日(木)です。
13 日 (木)	＜交流活動＞ 15:00 ～	中里中学校 グラウンド	・ 親善陸上大会に向け、中学校区の小学5、6年生が中学生の指導を受けながら合同練習をします。
15 日 (土)	＜交流活動＞ 11 : 00 ～	川西中学校 グラウンド	・ 親善陸上大会に向け、中学校区の小学5、6年生の希望者が、当日行われる「川西マラソン」終了後、中学生の指導を受けながら合同練習をします。
18 日 (火) ～ 21 日 (金)	＜あいさつ運動週間＞ 7:45 ～ 8:05	①下条中学校前 信号付近 ②下条小学校前 信号付近	・ 下条中学校区では、縦割り班ごとに日を割り振り、左記の場所であいさつ運動を行います。今回は4回目の取組です。
19 日 (水)	＜合同授業＞ 3 限 10:50 ～ 11:40 4 限 11:50 ～ 12:40 ＜中学校体験＞ 5 限 13:40 ～ 14:30 ＜部活動体験＞ 14:40 ～ 15:10	中里中学校	・ 午前中は中学校区の小学6年生が中学校に集い、合同授業を受けます。小学校の内容で中学校の教員も指導します。午後は小学6年生と中学1年生でいくつかのクラスを編成し、中学校の授業を受けます。授業後、中学生と一緒に部活動を体験します。

